

ステレオカセットコーダー

取扱説明書・保証書

ご購入いただきありがとうございます。
警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
 この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでもみられるところに必ず保管してください。

TCS-100

© 2005 Sony Corporation Printed in China

安全のために

警告
 ●乾電池はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の○と◎が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

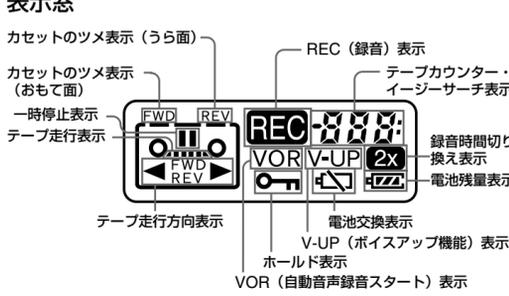
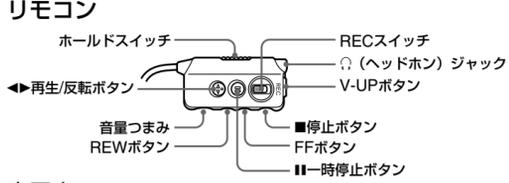
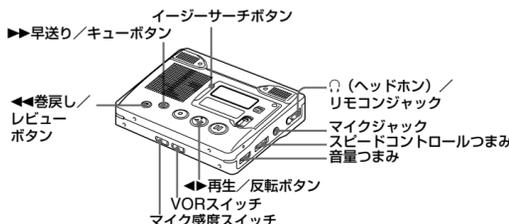
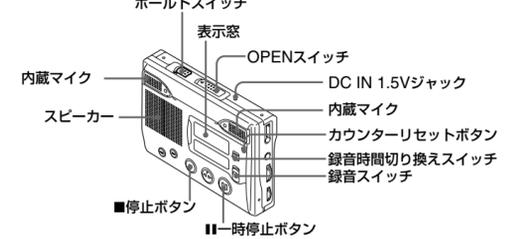
ご注意
 ●録りなおしのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
 ●カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

主な特長

- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える**録音時間2倍モード搭載**。^{パワダラム エフェクト}
- 発言者の声を明瞭にとらえる **Boundary effect** 収音方式のステレオフラット**マイク内蔵**。
- 会議録音等で発言者の声をより聞き取りやすくする **VOICE UP** 機能。
- ワンタッチで聞きたいところが探せる**イージーサーチ機能**。
- 録音状況に応じてマイクの感度を切り換えることができる**マイク感度切り換えスイッチ**。
- テープカウンター、電池残量、テープの走行方向等を表示する**液晶ディスプレイ**。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まる **VOR (自動音声録音スタート)** 機能。
- 録再オートリバー**ス

*本機の2倍モード(2.4 cm/s)で録音したテープは2倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。

各部のなまえ



品名 **カセットコーダー**
 型名 **TCS-100**
 保証書 **T11-1001A-4**

ここに保証書が入ります
 Complete the film by inserting the warranty at this position.

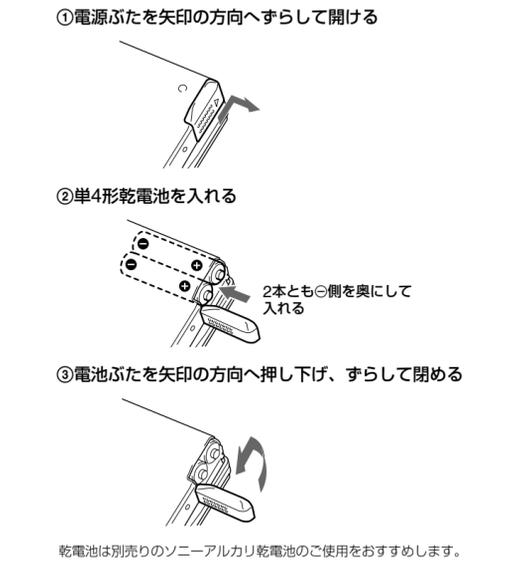
在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保証書以完成胶片。

準備する

ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

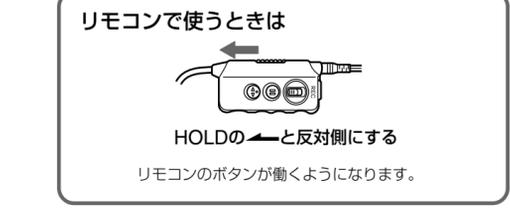
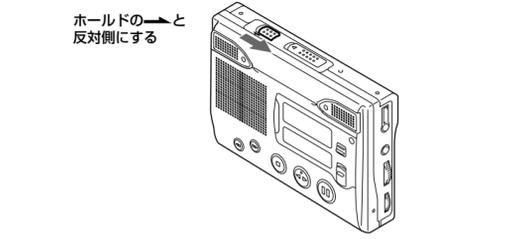
1 乾電池を入れる



ご注意
 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

2 ホールド (誤操作を防ぐ) 機能を解除する

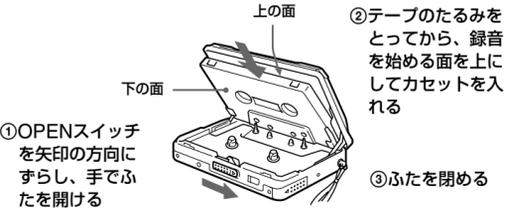
本体のボタンが動くようになります。



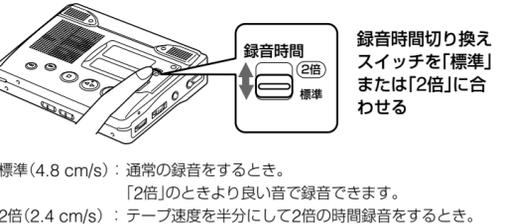
録音する

内蔵マイクですぐにステレオ録音できます。録音にはノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。ハイポジション(TYPE II)、メタル(TYPE W)では正しく録音できないことがあります。

1 カセットを入れる



2 録音時間を選ぶ



標準 (4.8 cm/s) : 通常の録音をするとき。
 「2倍」のときより良い音で録音できます。
 2倍 (2.4 cm/s) : テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。
 会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめてできません。
 (60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます)

3 VOR (自動音声録音スタート) 機能を「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能は「切」にしておいてください。VOR機能を使った録音については、「録音の便利な機能を使う」をご覧ください。



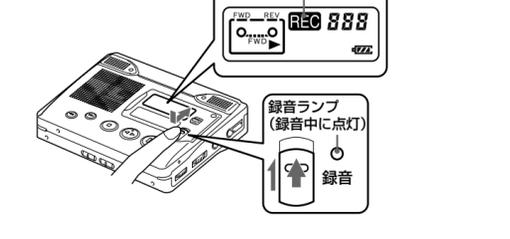
4 マイク感度を選ぶ

マイク感度切り換えスイッチを「標準」または「口述」に合わせる。

録音の状態	マイク感度切り換えスイッチ
遠くの音や小さい音を録音する (例：会議を録音するとき)	標準
近くの音や大きい音を録音する (例：マイクを口元に近づけて録音するとき)	口述

5 録音する

おもて面 (FWD) から録音が始まり、うら面 (REV) も続けて録音します (オートリバー)。
 うら面 (REV) が終わると自動的に停止します。
 録音スイッチを中央のボタンを押しながら矢印の方向にずらす。表示窓に「REC」が点灯し、録音スイッチは元の位置に戻ります。



録音ランプは録音する音の大きさによって明るさが変わります。カセットのツメが折れていないことを確認してください。折れている場合は「ご使用上のご注意 大切な録音を守るには」をご覧ください。

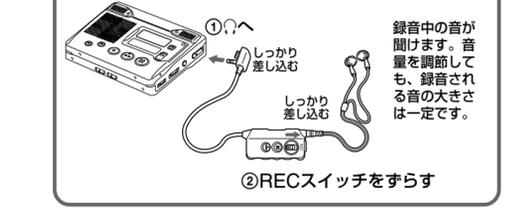
操作	押すボタン、ずらすスイッチ
録音を止める	■を押す。
一時停止する	を押す。
一時停止を解除する	を押す。表示窓の「 」が消灯します。
カセットを取り出す	■を押してから、OPENスイッチを矢印の方向にずらす。

ご注意
 ●カセットを取り出すときは、動作音が止まったことを確認してから行ってください。
 ●マイクジャックに外部マイクを差し込むと内蔵マイクは働きません。

停止中にふたを開けるとテープ走行方向は自動的におもて面 (FWD) になります。
 一度ふたを開けてから再び操作すると、必ずおもて面 (FWD) を録音します。

録音中の音を聞くには
 付属のステレオヘッドホンや(ヘッドホン)/リモコンジャックにつなぎます。
 モニター音は音量つまみで調節できます。録音される音の大きさは一定です。

リモコンでも操作できます

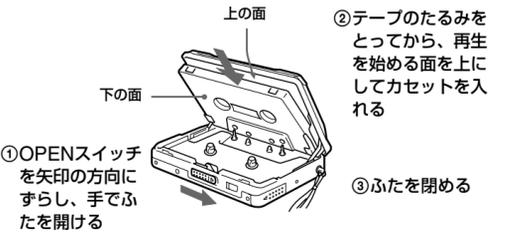


あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

テープを聞く

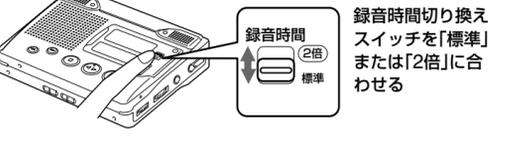
ノーマル、ハイポジション、メタルのテープを自動的に判別し、再生します (オートテープセレクター機能)。

1 カセットを入れる



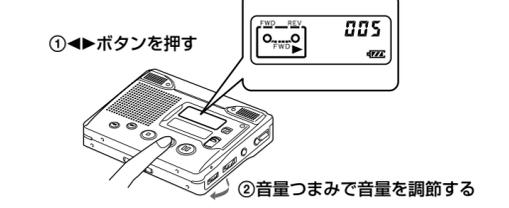
2 「標準」または「2倍」を選ぶ

録音時間切り換えスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。



3 再生する

おもて面 (FWD) から再生が始まり、うら面 (REV) も続けて再生します (オートリバー)。
 うら面 (REV) が終わると自動的に停止します。



テープ速度がおかしいときは、録音時間切り換えスイッチおよびスピードコントロールつまみを確認してください。

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
テープを止める	■
一時停止する	
一時停止を解除する*	または◀を押す。
早送りする**	停止中に▶を押す。 (リモコンではFF)
巻き戻す**	停止中に◀を押す。 (リモコンではREW)
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に▶を押し続ける。 (リモコンではFF)
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に◀を押し続ける。 (リモコンではREW)
再生中に再生面を換える	◀
停止中に再生面を換える	■を2秒以上押す。
カセットを取り出す	■を押してからOPENスイッチを矢印の方向にずらす。

* 一時停止は■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボースリリース機能)。
 ** テープの終わりで自動的に止まり、電源が切れます(フルオートシャットオフ機能)。

ご注意
 カセットを取り出すときは、動作音が止まったことを確認してから行ってください。

停止中にふたを開けるとテープ走行方向は自動的におもて面(FWD)になります。一度ふたを開けてから再び操作すると、必ずおもて面(FWD)を再生します。

聞きたいところをすばやく探すには(イージーサーチ機能)
 再生中または停止中にイージーサーチボタンを押す回数によって、聞きたいところまで巻き戻しまたは早送りをして再生します。
 - ボタンは1回押すごとに約3秒前、+ボタンは1回押すごとに約10秒先を再生します。 - または+ボタンは最大20回 (約60秒前または約200秒先)まで押すことができます。(押し続けても表示の数字は変わりません。) 会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。



ご注意
 ●録音中にイージーサーチボタンを押すと、録音が止まり、押した回数分だけ早送り/巻き戻したのち、再生が始まります。
 ●イージーサーチ中にテープの終わりまたは始まりになると自動的に止まります。

リモコンでも操作できます

